

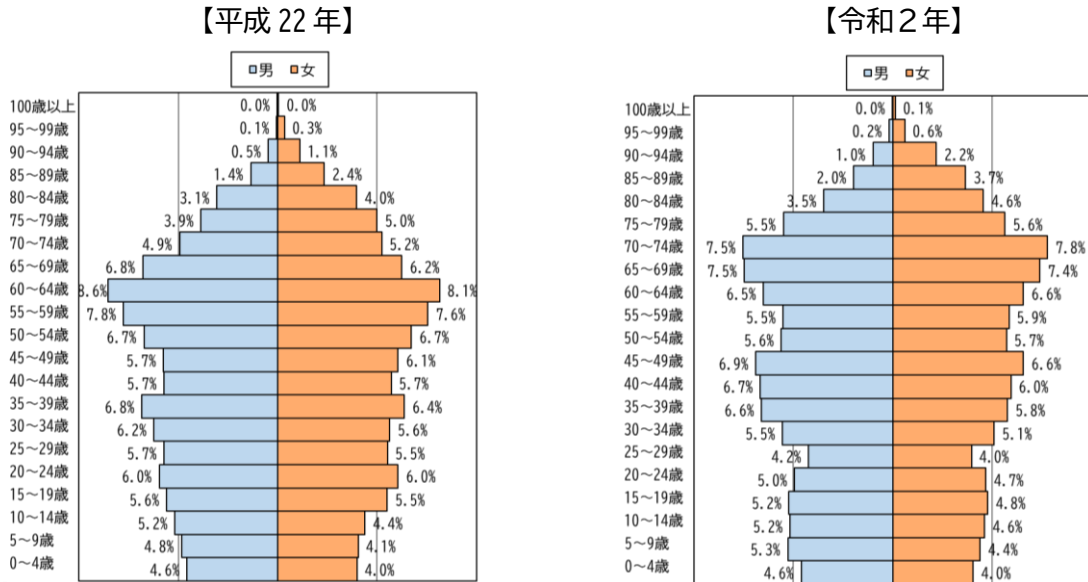
第3次宗像市国土利用計画

＜参考資料＞

1 土地利用を規定する条件に関する基礎データ

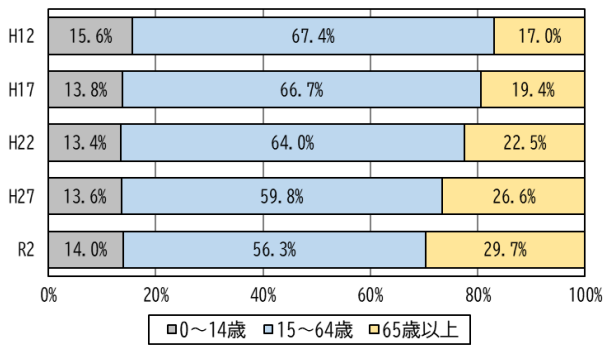
1-1 基盤条件

(1) 年齢別人口構成



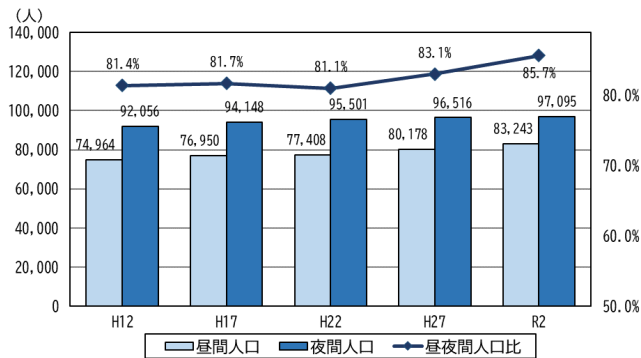
出典：国勢調査

(2) 3階級別人口の推移



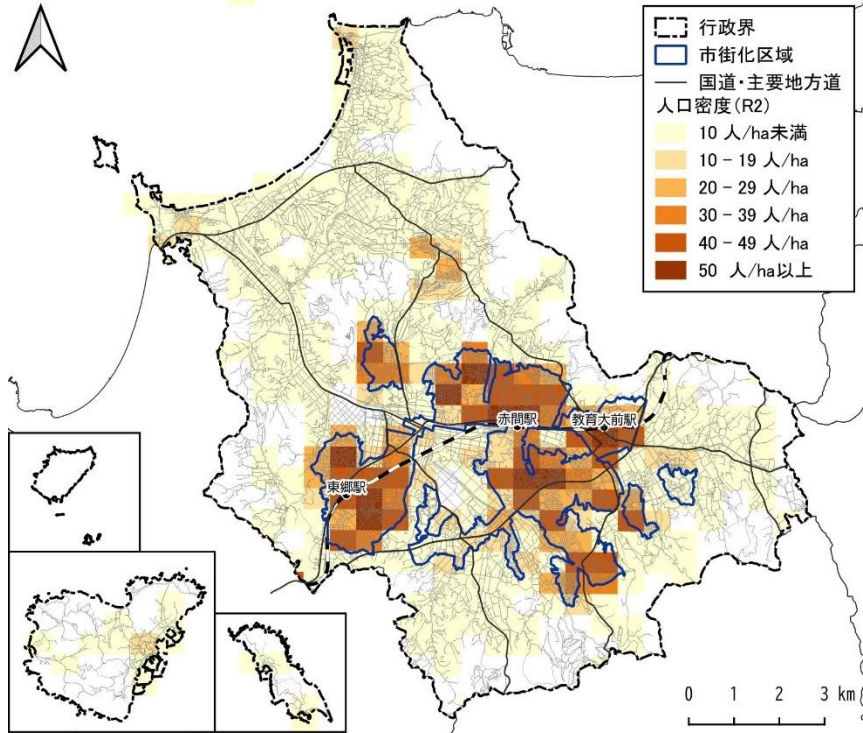
出典：国勢調査

(3) 昼夜間人口



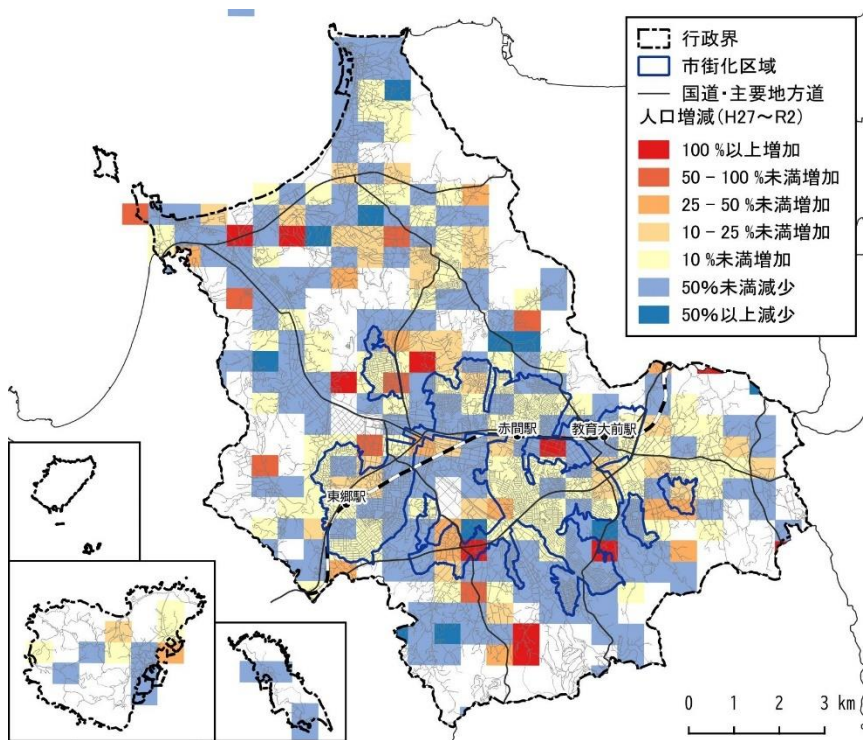
出典：国勢調査

(4) 地区別人口密度



出典：国勢調査

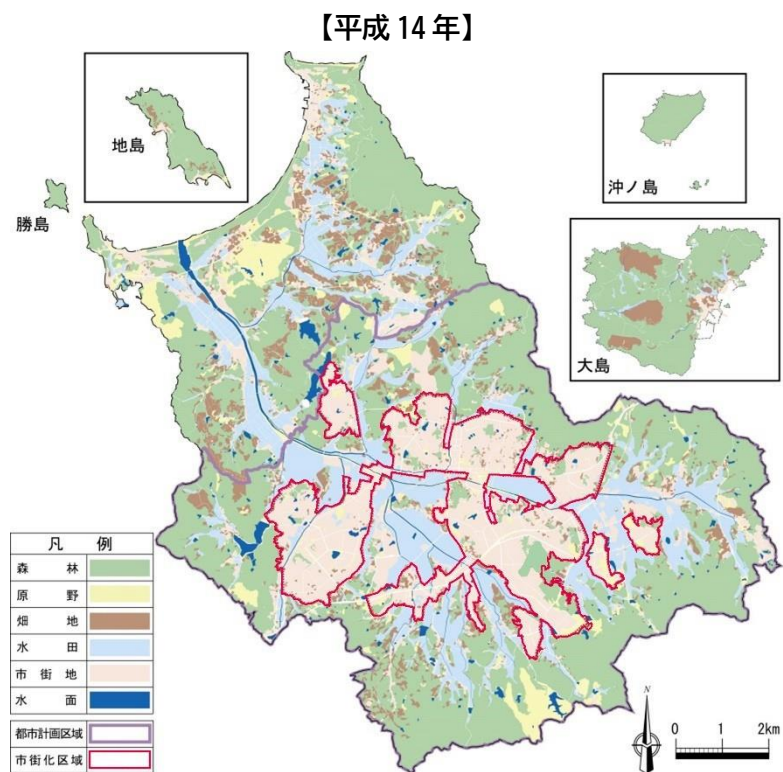
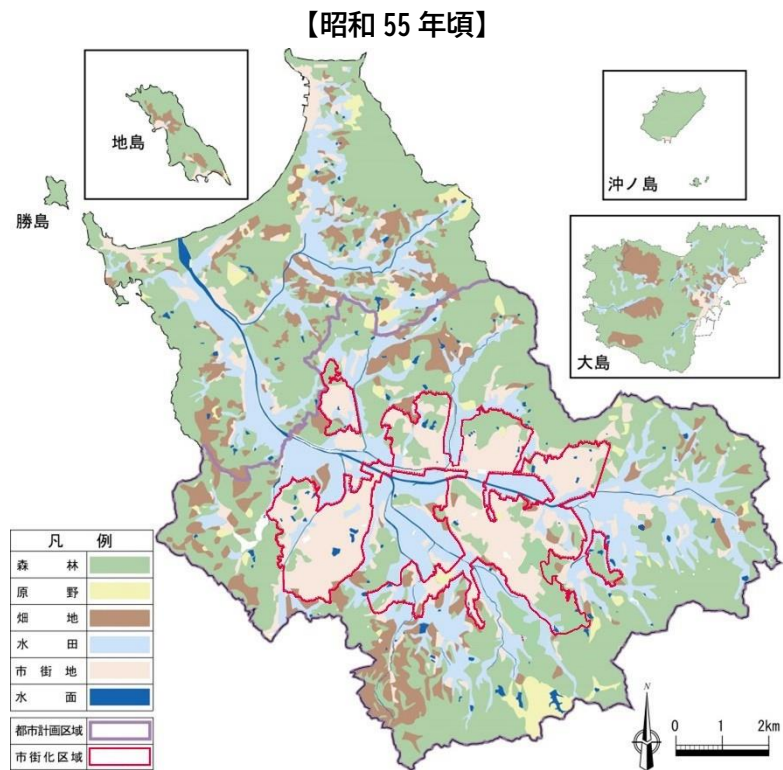
(5) 地区別人口増減



出典：国勢調査

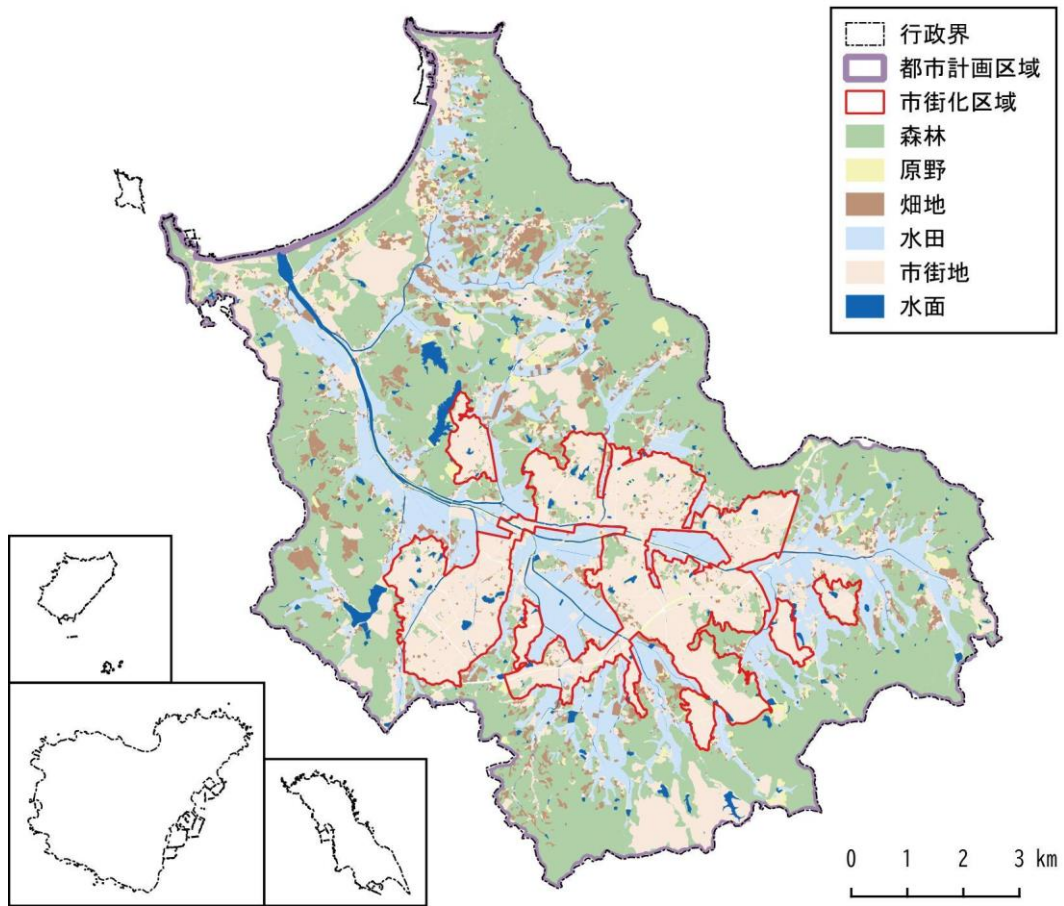
1-2 自然条件

(1) 土地利用の推移



出典：国土地理院旧版地形図等を基に作成

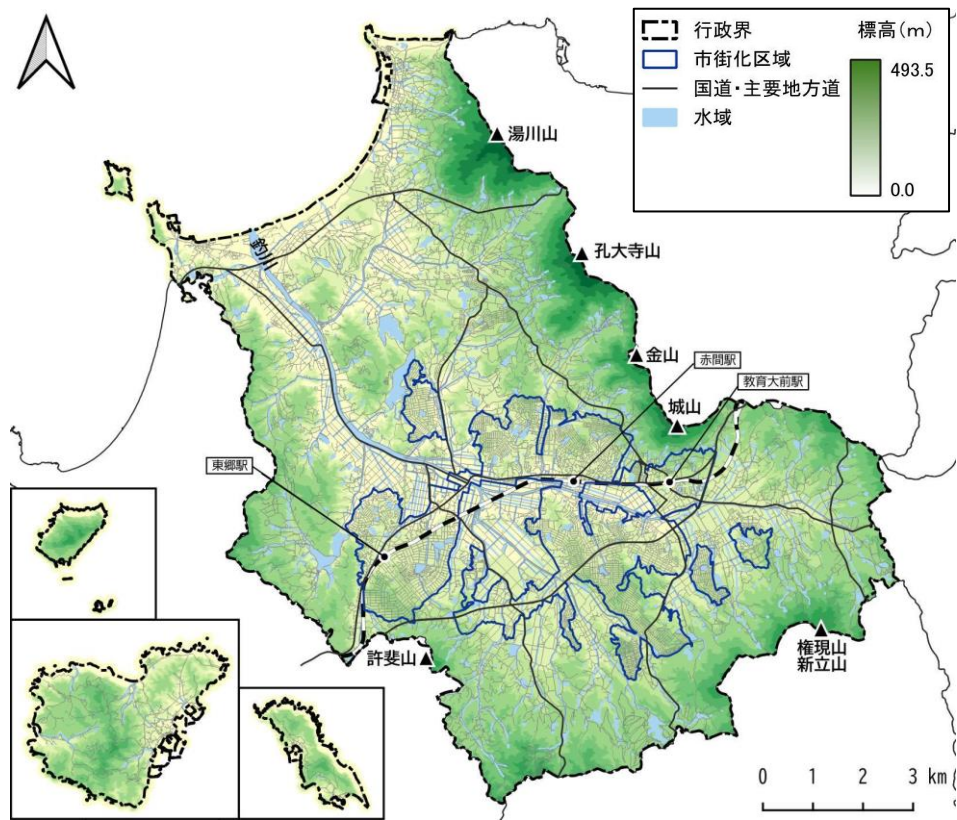
【令和4年】



出典：令和4年度都市計画基礎調査

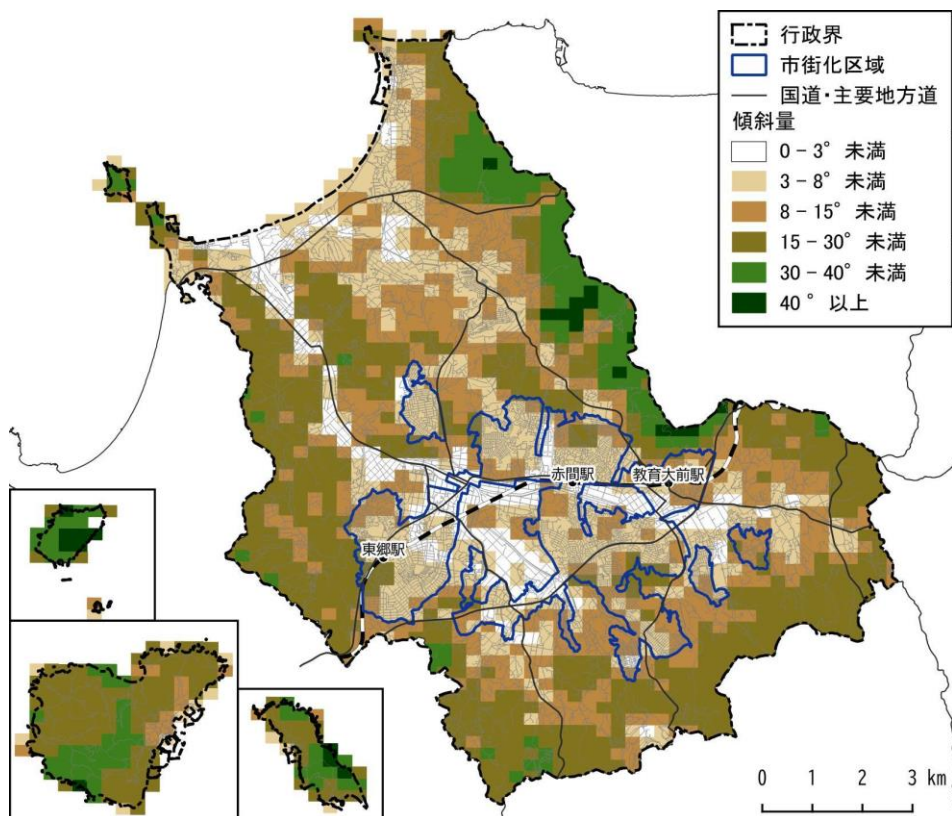
※都市計画基礎調査は都市計画区域を対象にしているため、都市計画区域外についてはデータなし

(2) 地形及び水系



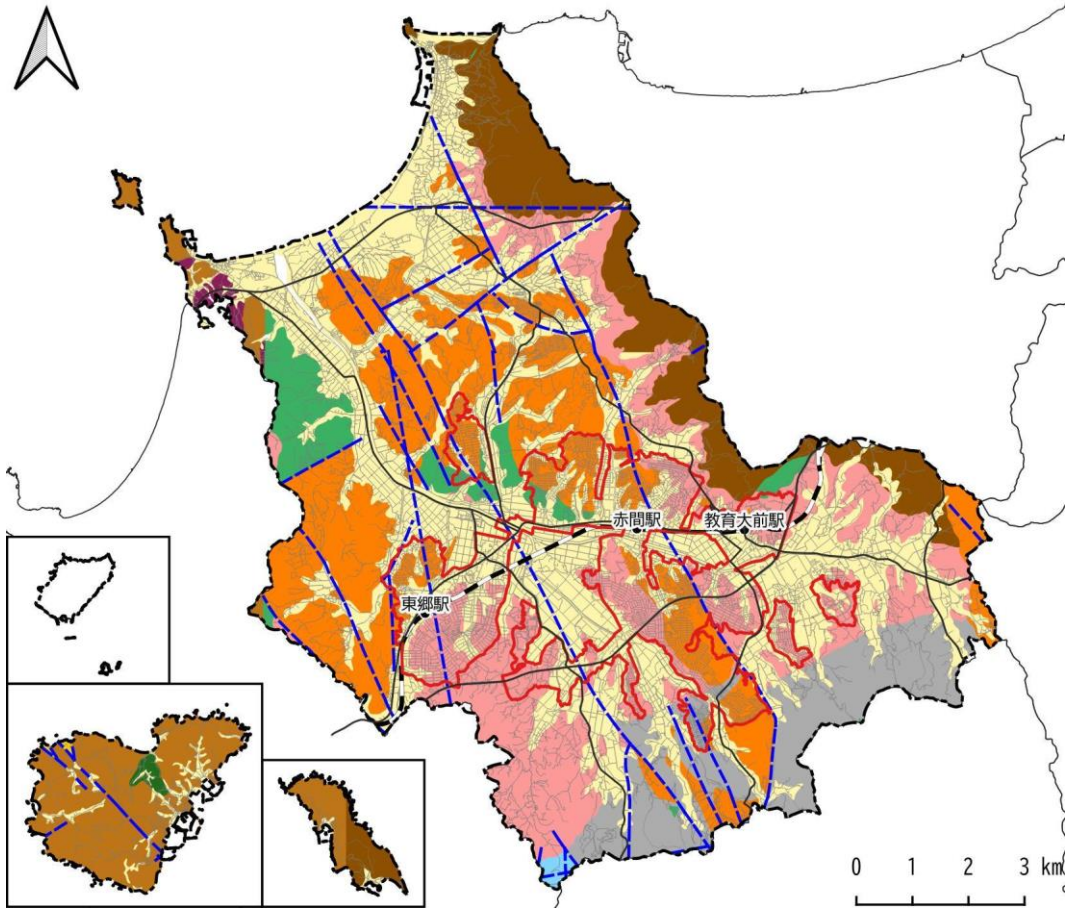
出典：国土地理院 基盤地図情報（R4 時点）

(3) 傾斜区分



出典：国土交通省 国土数値情報（S56 時点）

(4) 表層地質

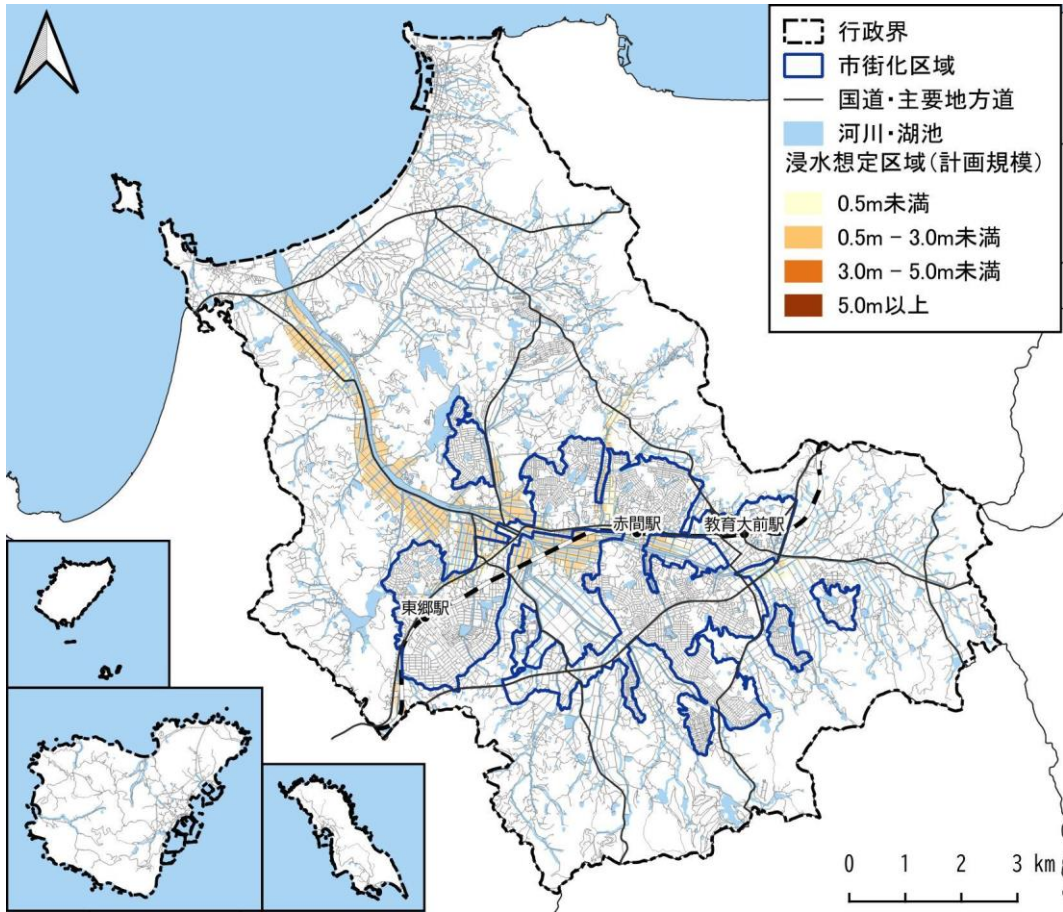


	行政界
	市街化区域
	国道・主要地方道
	断層
表層地質	
	ひん岩類
	安山岩質溶岩・同質集塊岩・凝灰角礫岩および砂岩(関門層群下関亜層群)
	火山質礫岩・凝灰質砂岩・頁岩・凝灰岩・安山岩質溶岩(下関亜層群)
	花崗岩・花崗閃緑岩
	角閃石・黒雲母花崗閃緑岩(平尾型)
	砂・泥・礫・粘土・埋土
	砂岩・シルト岩(凝灰質シルト岩、同質角礫岩石炭を含む粕屋・志免層群)
	砂岩・頁岩互層及び礫岩・凝灰岩・石炭層を含む(古第三紀層)
	石灰岩礫岩・凝灰岩・凝灰質砂岩・頁岩・砂岩・礫岩(脇野亜層群)
	斑岩類
	緑色片岩・緑色準片岩(石灰岩)

出典：国土交通省 国土数値情報 (S58 時点)

(5) 災害リスクの状況

① 浸水想定区域 (計画規模)



出典：福岡県洪水浸水想定区域図（H30時点）

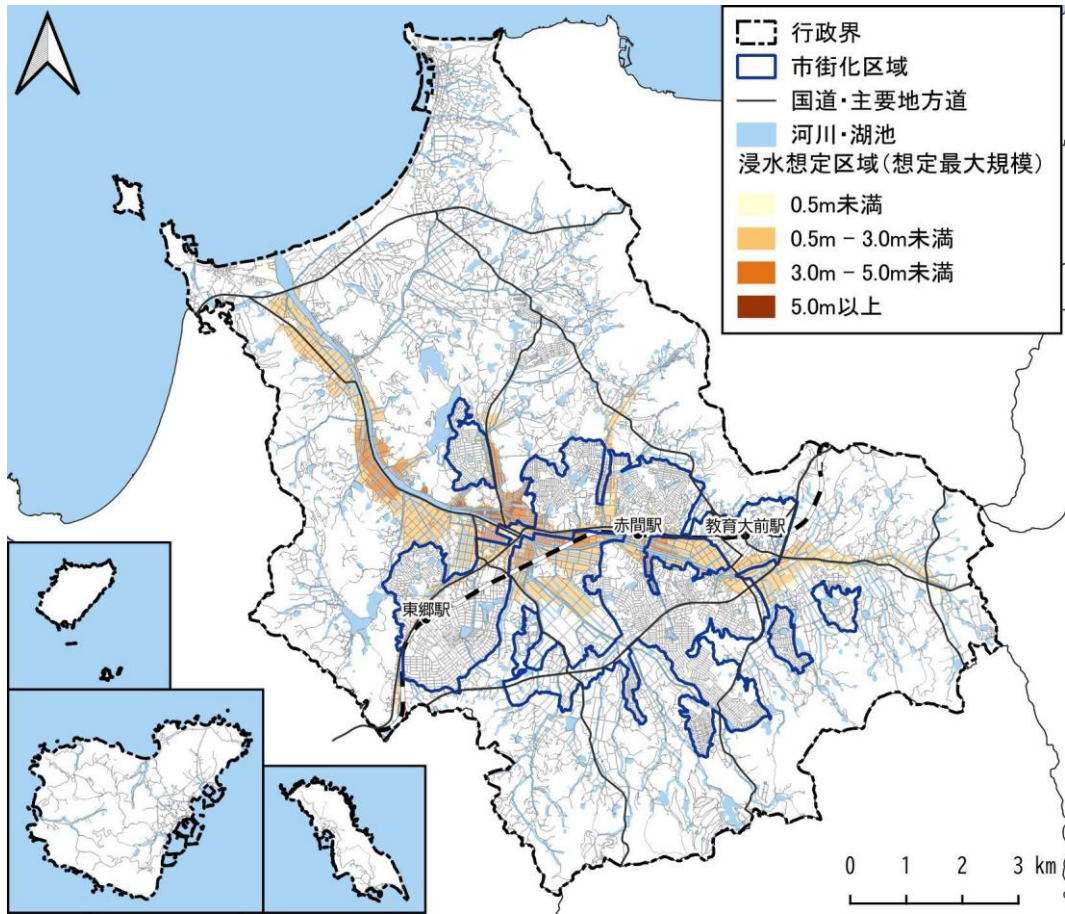
※計画規模とは、計画降雨（年超過確率 1/50）によって、河川が氾濫した場合に浸水が想定される範囲及び水深

※年超過確率 1/50 の降雨に伴う洪水により以下の河川が氾濫した場合の浸水状況

[対象となる河川と算出条件]

釣川水系釣川、八並川、山田川（流域 24 時間総雨量 245 mm）

②浸水想定区域（想定最大規模）



出典：福岡県洪水浸水想定区域図（H30時点）

※想定最大規模とは、想定最大規模降雨（年超過確率 1/1000 程度の降雨量を上回るもの）によって、河川が氾濫した場合に浸水が想定される範囲及び水深

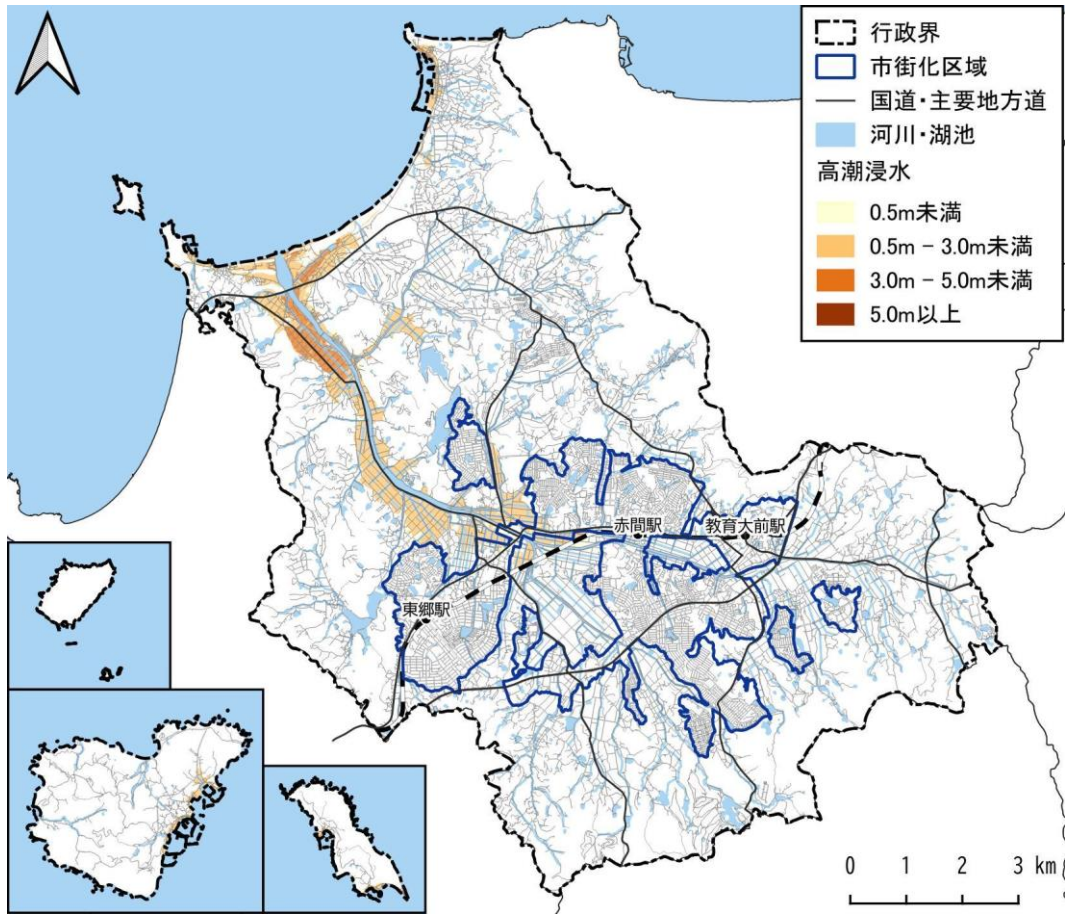
※想定最大規模降雨

[対象となる河川と算出条件]

釣川、八並川、山田川（前提となる降雨：釣川流域の 6 時間総雨量 543 mm）

樽見川、吉田川、阿久住川、四十里川、横山川、大井川、高瀬川、朝町川（前提となる降雨：釣川流域の 24 時間総雨量 992 mm）

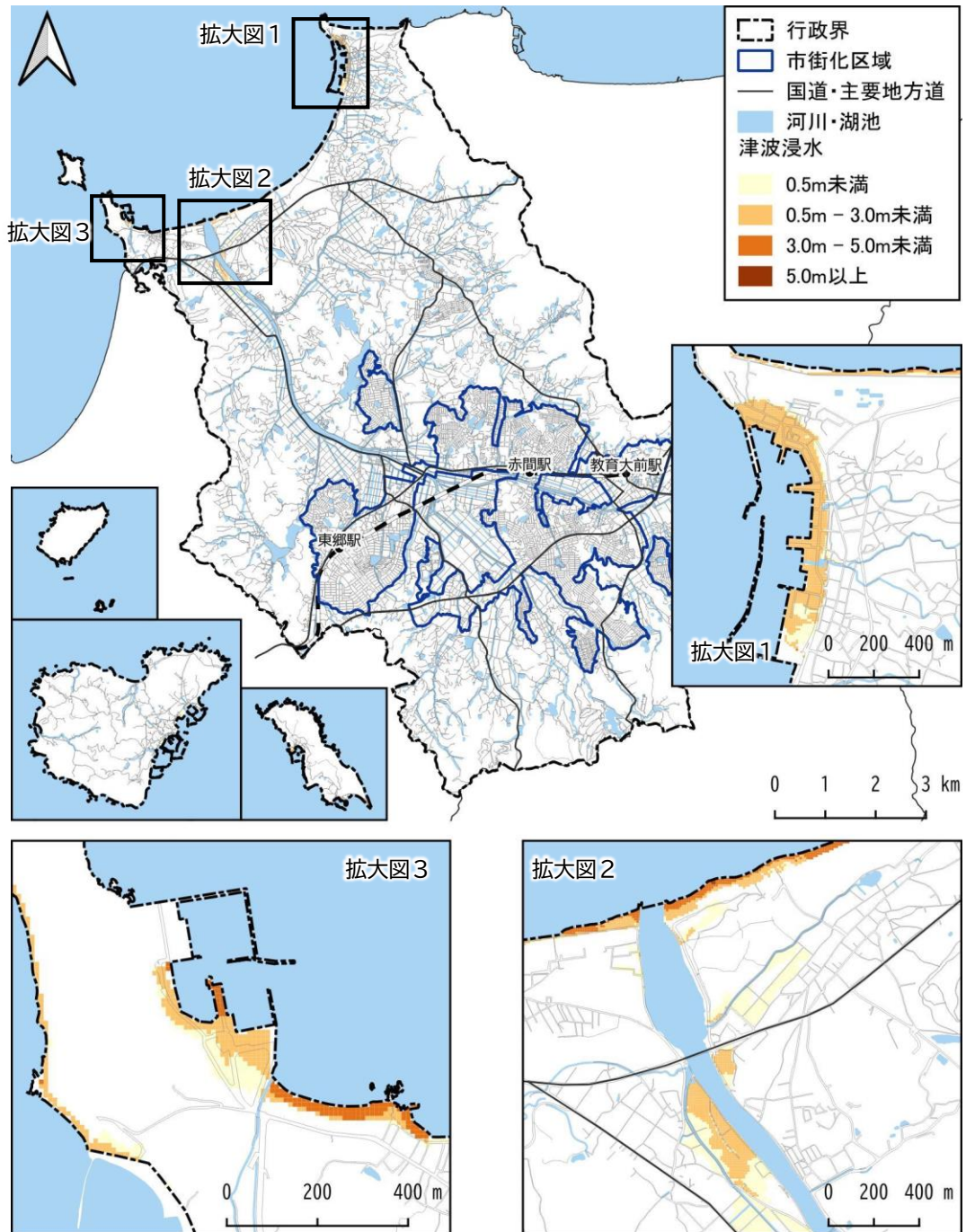
③高潮浸水想定区域



出典：福岡県高潮浸水想定区域図（H30時点）

※我が国既往最大規模の台風を基本とし、各海岸で潮位偏差が最大となるよう複数の経路を設定して高潮浸水シミュレーションを実施した結果を重ね合わせた最大の浸水深

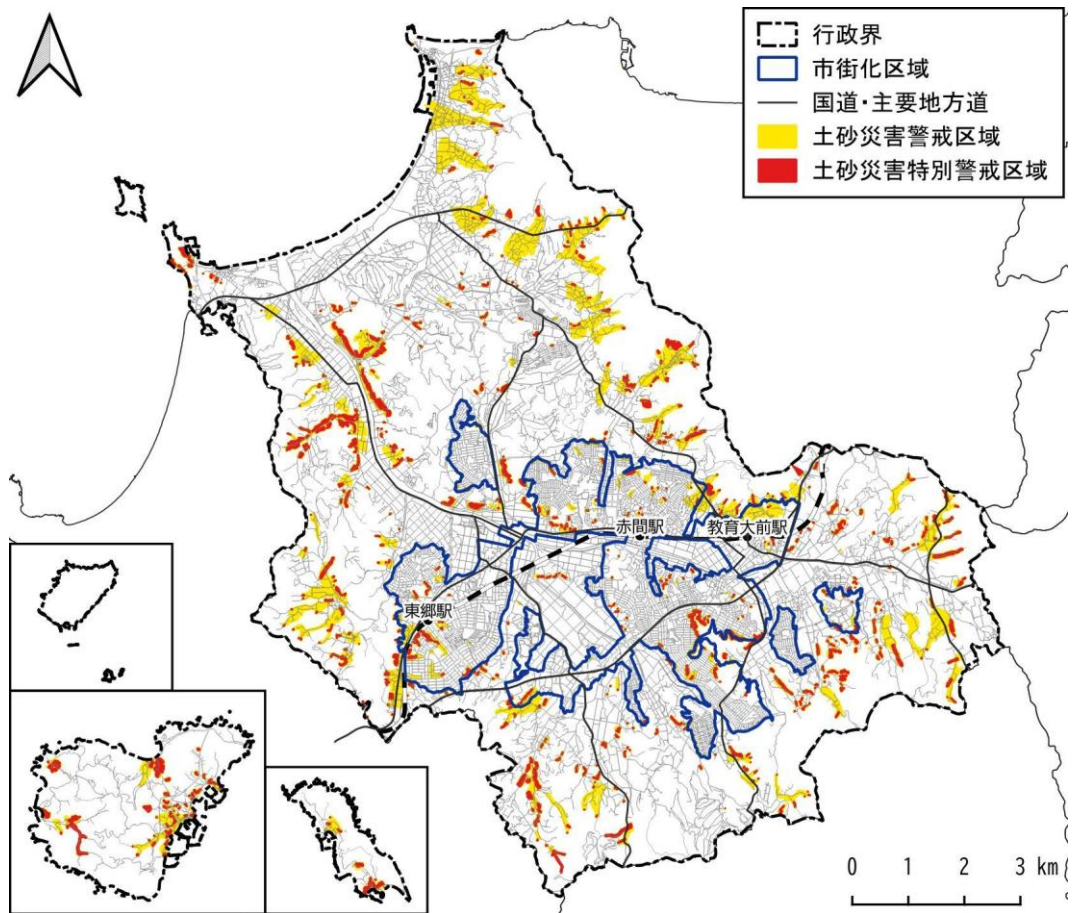
④津波浸水想定区域



出典：福岡県津波浸水想定区域図（H28時点）

※国において検討された津波を起こす断層などから、福岡県に到達する最大クラスの津波を選定し、津波浸水シミュレーションにより予測される浸水の区域などを設定

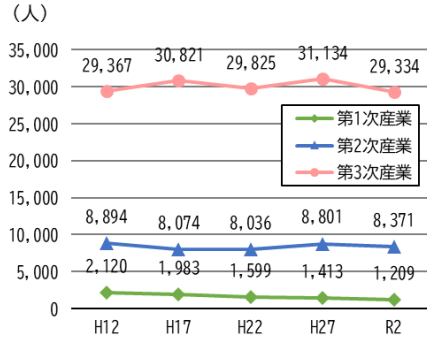
⑤土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域



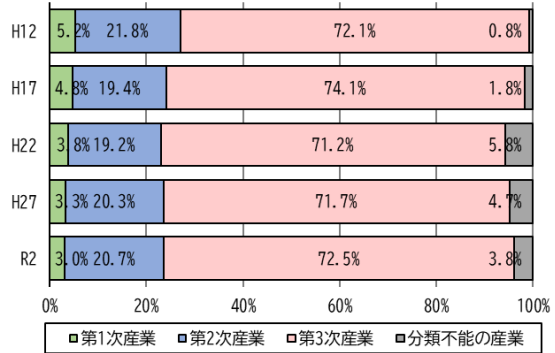
出典：福岡県土砂災害危険箇所マップ（R6時点）

1-3 社会条件

(1) 産業別就業人口

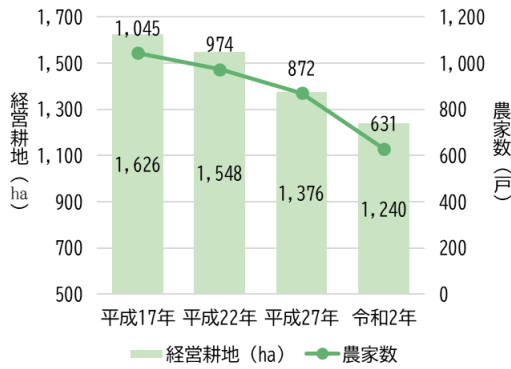


出典：国勢調査

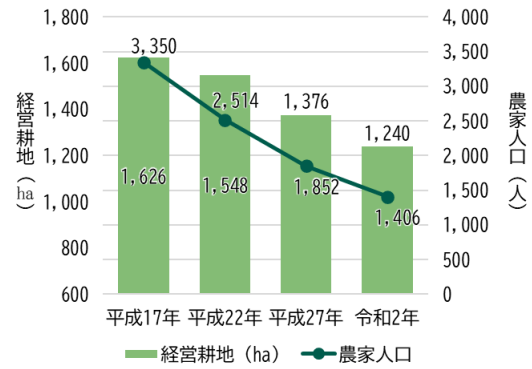


出典：国勢調査

(2) 農家数及び経営耕地、農家人口の推移

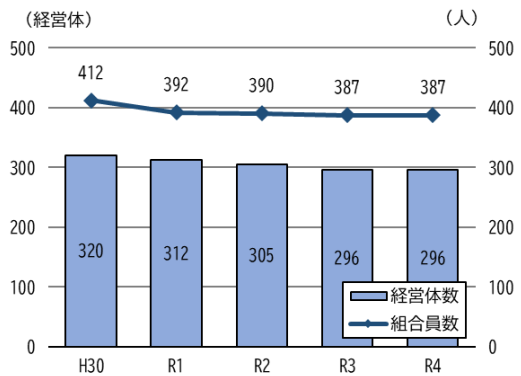


出典：宗像市統計書

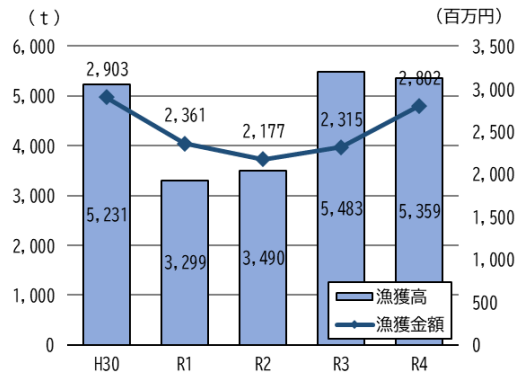


出典：宗像市統計書

(3) 漁業経営対数及び漁獲高の推移

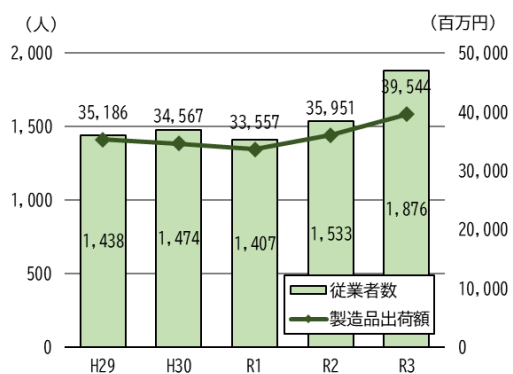


出典：宗像市統計書

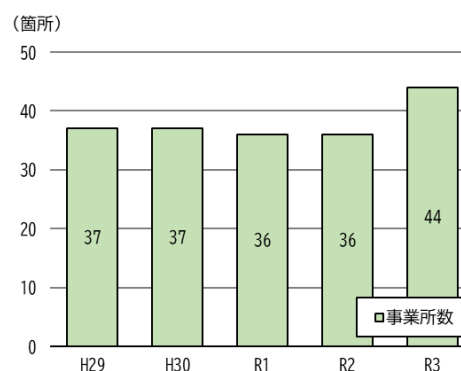


出典：宗像市統計書

(4) 製造出荷額及び従業者数の推移

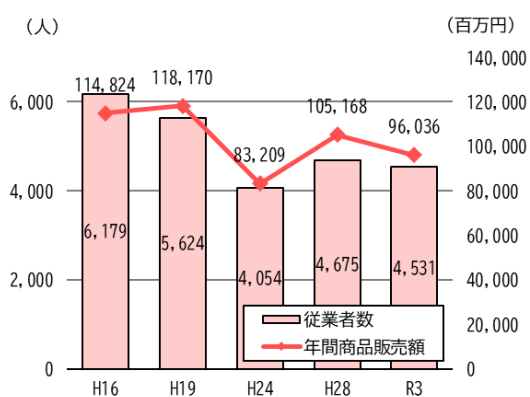


出典：工業統計調査

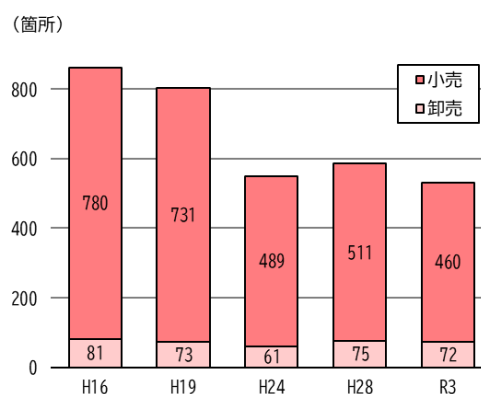


出典：工業統計調査

(5) 年間販売額及び従業者数の推移



出典：商業統計調査

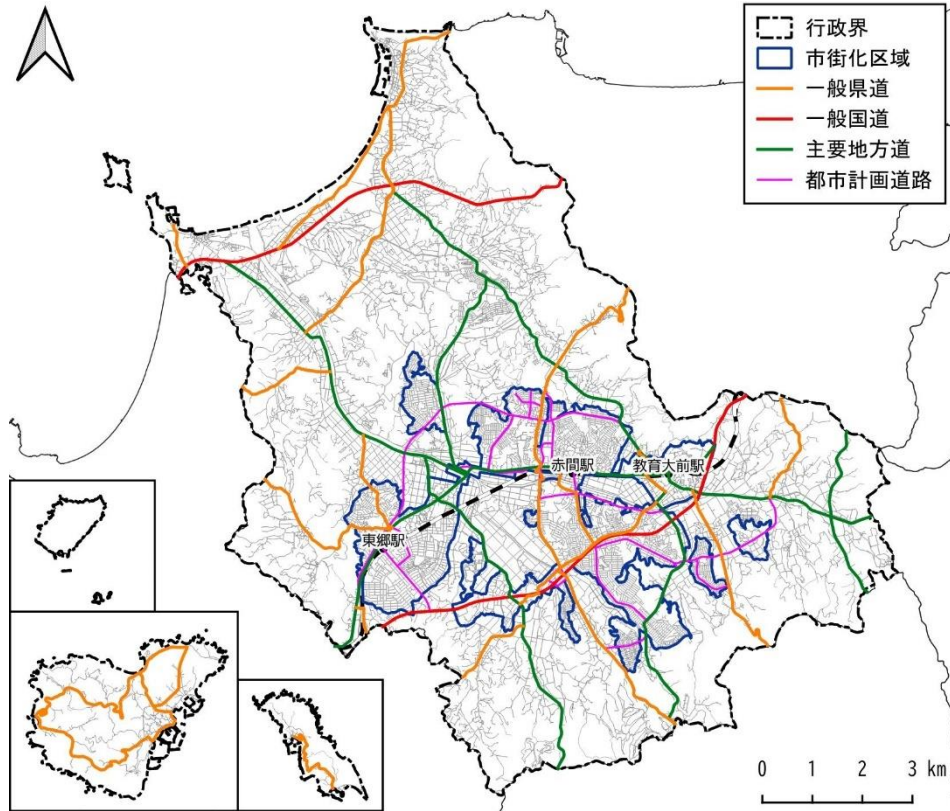


出典：商業統計調査

※商業統計調査については、平成24年以降調査設計の大幅な変更のため以前の数値とは接続しない

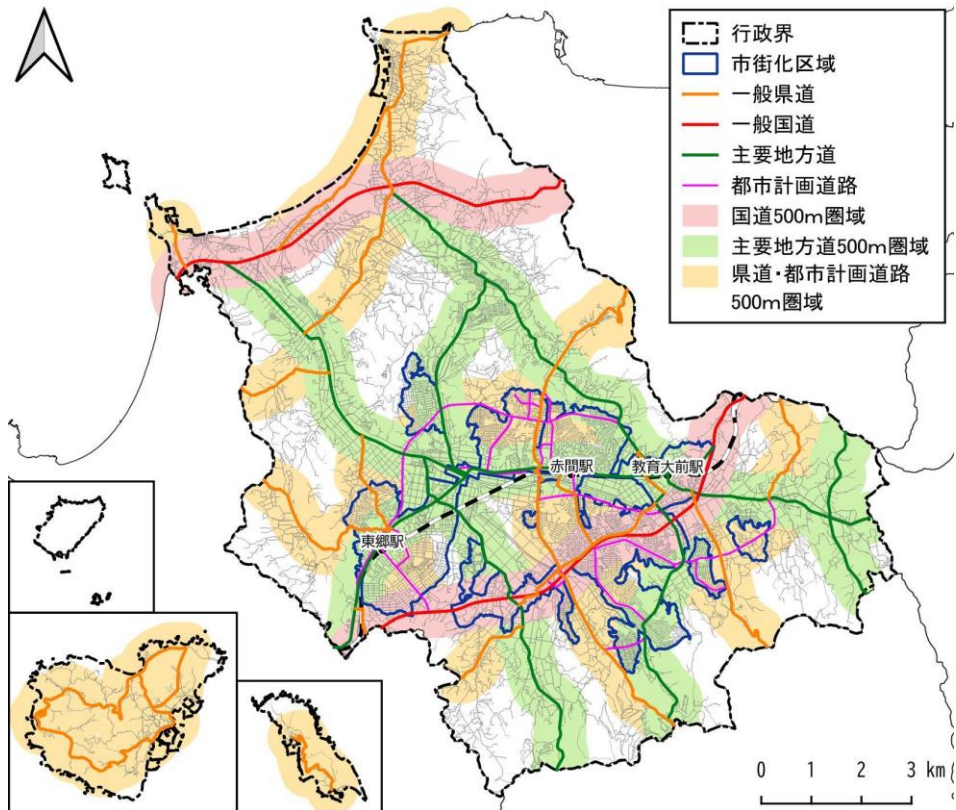
(6) 道路網、交通利便性

① 道路網



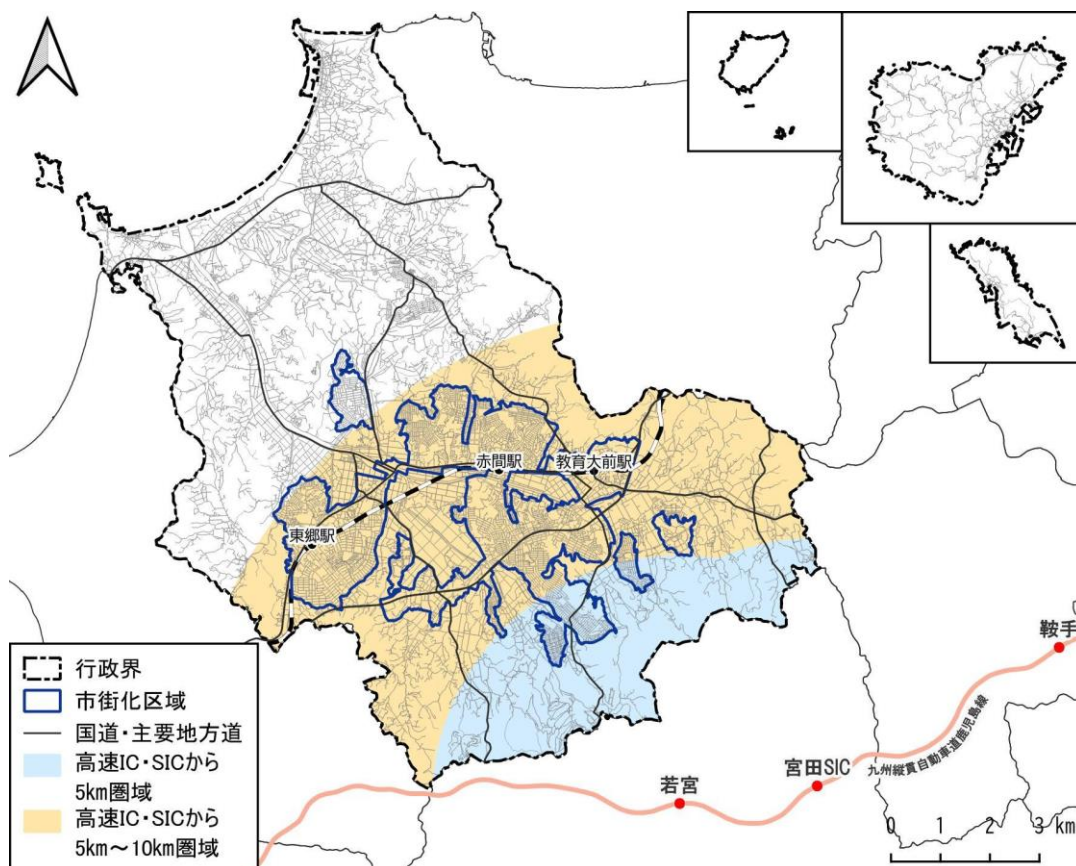
出典：令和4年度都市計画基礎調査

② 道路からの距離



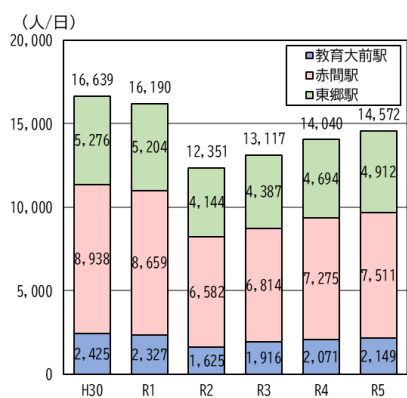
出典：令和4年度都市計画基礎調査

③ インターチェンジ・スマートインターチェンジからの距離



出典：国土交通省 国土数値情報を基に作成（R5 時点）

(7) JR乗車人員

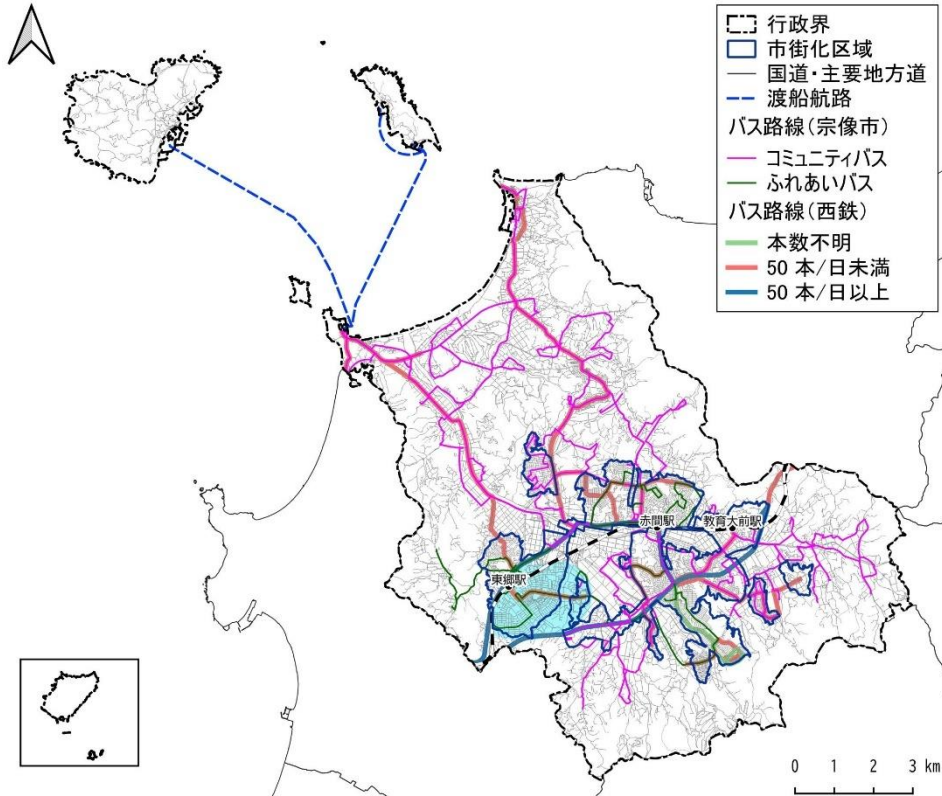


出典：九州旅客鉄道株式会社

順位	駅名	乗車人員 (人/日)	順位	駅名	乗車人員 (人/日)
1	博多	119,562	11	佐賀	11,722
2	小倉	32,073	12	福工大前	10,922
3	鹿児島中央	19,437	13	南福岡	9,711
4	大分	16,949	14	竹下	9,470
5	熊本	16,292	15	九大学研都市	8,985
6	吉塚	14,867	16	長崎	8,863
7	折尾	13,983	17	福岡	8,549
8	千早	13,559	18	戸畑	8,372
9	香椎	13,470	19	大野城	7,823
10	黒崎	13,247	20	赤間	7,511

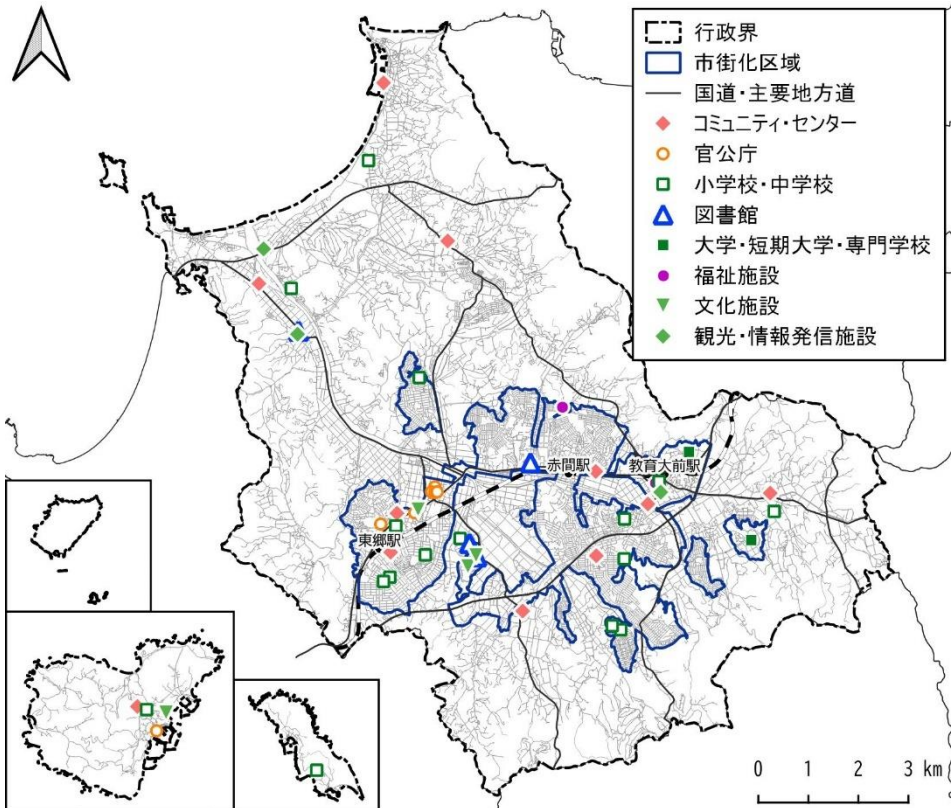
出典：九州旅客鉄道株式会社（R5 時点）

(8) 公共交通機関



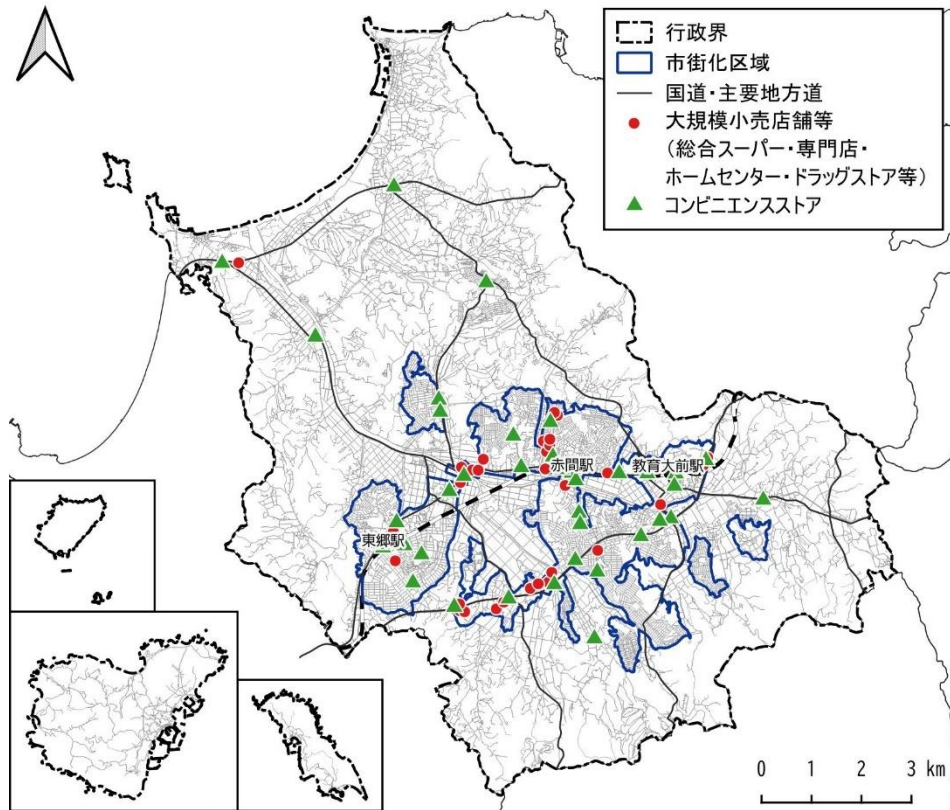
出典：令和4年度都市計画基礎調査、市ホームページ（R6時点）、国土交通省 国土数値情報（R4時点）、市資料（R6時点）

(9) 公共公益施設の位置



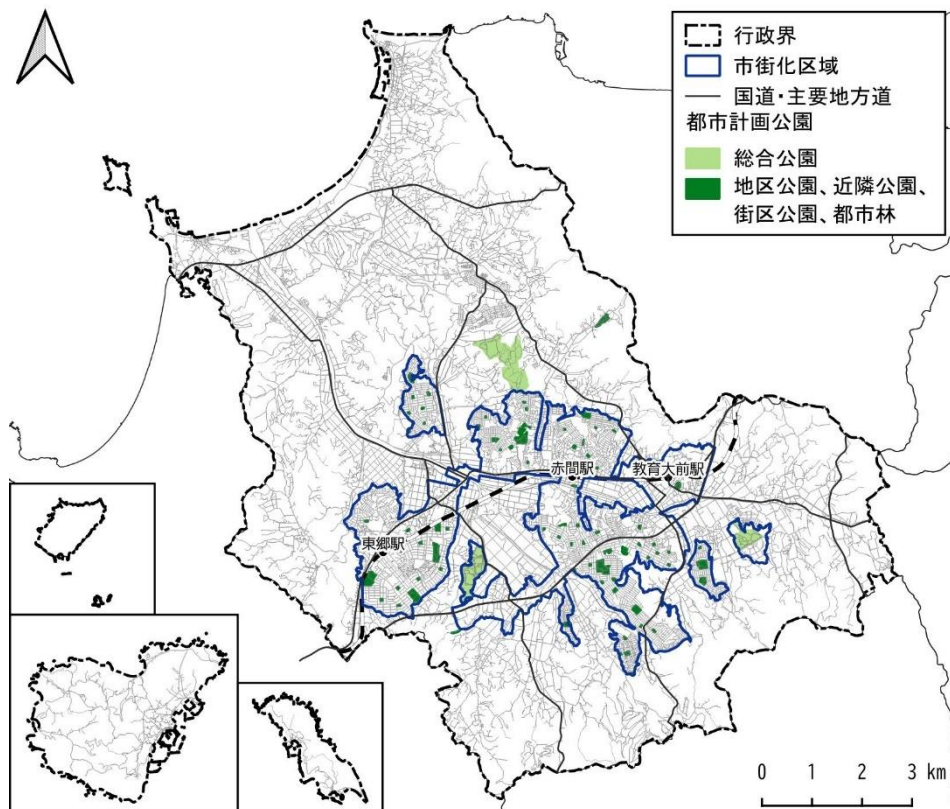
出典：令和4年度都市計画基礎調査、市ホームページ（R6時点）

(10) 大規模小売店舗などの位置



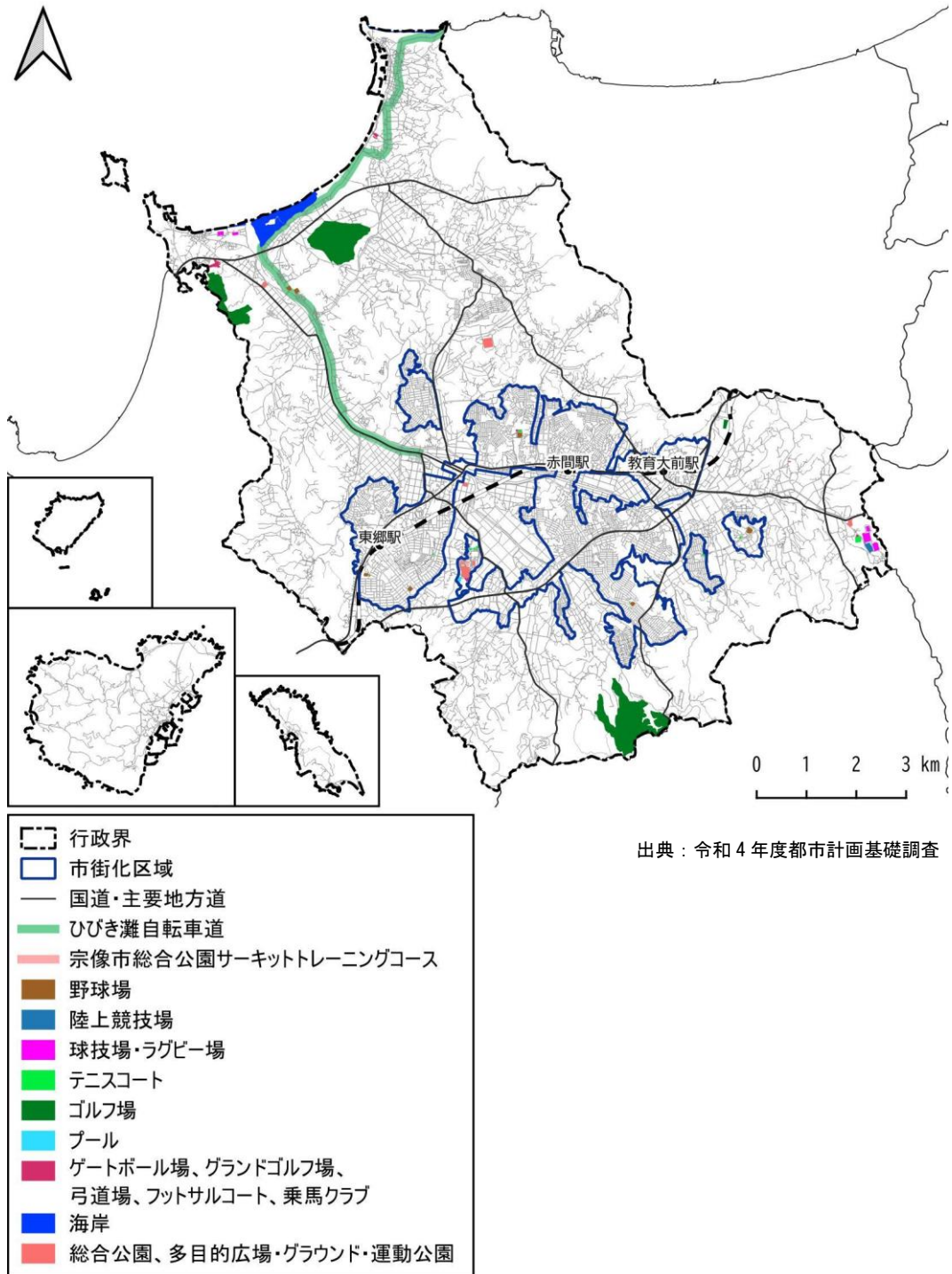
出典：令和4年度都市計画基礎調査、スーパーマーケットマップをもとに作成（R6時点）

(11) 都市公園の位置



出典：令和4年度都市計画基礎調査

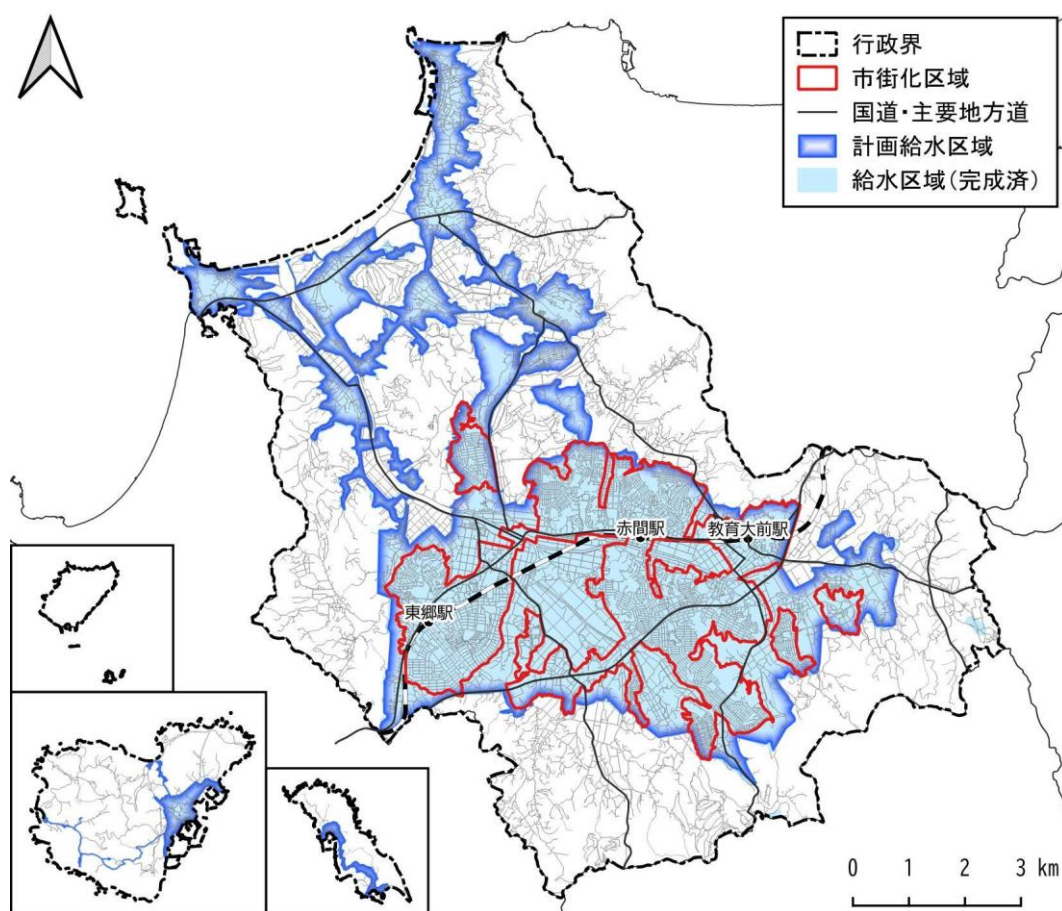
(12) 屋外レクリエーション施設の位置



(13) 上水道整備状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
行政区域内人口（人）	(A)	96,816	96,900	96,990	96,931	96,930	96,762
給水区域内人口（人）	(B)	94,092	94,434	94,579	94,559	95,167	95,041
給水人口（人）	(C)	84,421	84,763	84,908	84,888	85,494	85,368
普及率（%）	(C/A)	87.2%	87.5%	87.5%	87.6%	88.2%	88.2%
給水区域内の普及率（%）	(C/B)	89.7%	89.8%	89.8%	89.8%	89.8%	89.8%

出典：宗像地区事務組合



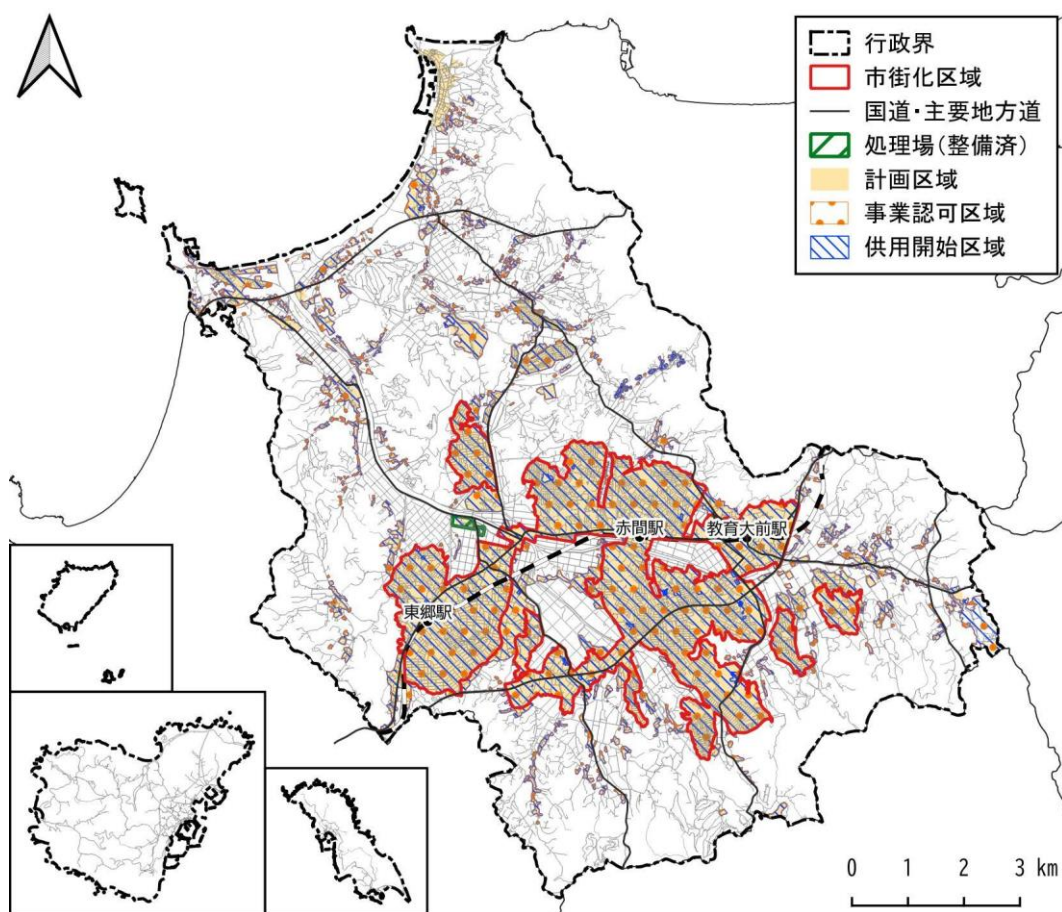
出典：令和4年度都市計画基礎調査

(14) 下水道施設整備状況

	全体計画区域面積(ha)	事業認可区域面積(ha)	供用面積(ha)	整備率(%)
公共下水道	2,857.9	2,729.0	2,629.6	92.0

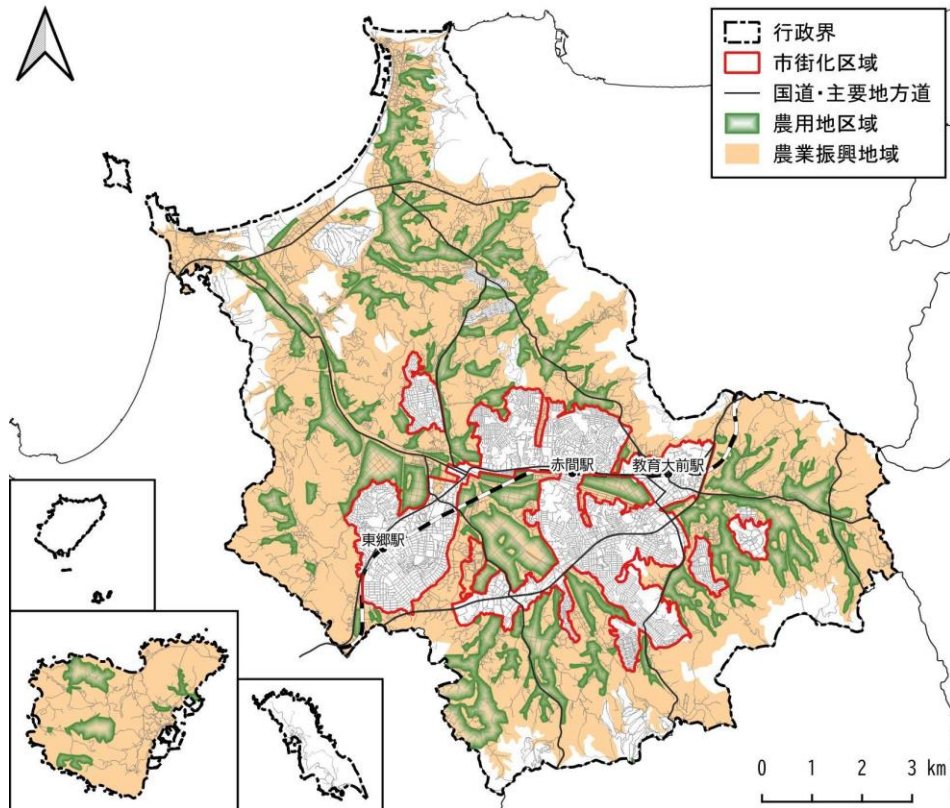
	世帯数(世帯)	供用区域戸数(戸)	普及率(%)
宗像市	44,884	44,606	99.4
市街化区域内	43,866	43,603	99.4

出典：下水道課（R5時点）



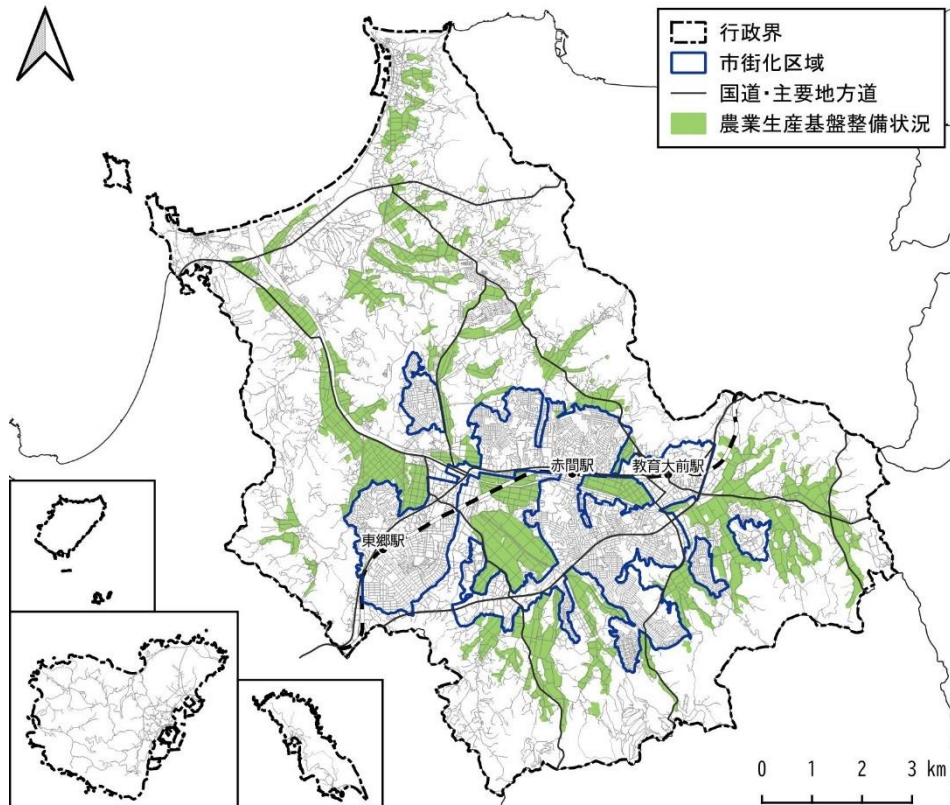
出典：令和4年度都市計画基礎調査

(15) 農業振興地域及び農用地区域



出典：国土交通省 国土数値情報（H27 時点）

(16) 農業生産基盤整備状況



出典：令和4年度都市計画基礎調査、国土交通省 国土数値情報（H27 時点）

2 目標値の設定方法など

2-1 市土の土地利用区分及び定義

土地利用区分については、「福岡県土地利用動向調査」に基づき、下表の国土交通省における「土地利用現況把握調査」の利用区分を用いるものとする。

利用区分		定義
農用地		耕地の目的に供される土地
森林		国有林と民有林の合計
原野等（宗像市に対象地なし）		森林以外の草生地と採草放牧地の合計
水面・河川・水路	水面	湖沼（人造湖及び天然湖沼）並びにため池の満水時の水面
	河川	一級河川、二級河川、準用河川における河川区域
	水路	農業用排水路
道路		一般道路、農道及び林道の合計
宅地	住宅地	建物の敷地及び建物の維持又は効用を果たすために必要な土地
	工業用地	従業員4人以上の事業所の敷地
	その他の宅地	「宅地」から「住宅地」と「工業用地」を除いた土地
その他		上記のいずれにも該当しない土地

2-2 土地利用区分別の目標面積の算定方法

福岡県土地利用動向調査（平成30年から令和4年）の面積推移に基づくトレンド推計や新たな工業用地の確保などによる転用を基本としつつ、人口や土地利用動向を考慮した推計が必要な土地利用区分については、以下の考え方にに基づき算出する。

（1）農用地に関する考え方

平成30年から令和4年の面積推移に基づくトレンド推計によると、令和17年の農用地面積は2,044haとなるが、近年の農地転用の状況や将来的な人口動向を鑑み、以下のとおり目標値を設定する。

基準年 令和4年度 (2022年度)	目標年(趨勢) 令和17年度 (2035年度)	補正等の考え方	目標年 令和17年度 (2035年度)
2,134ha	2,044ha	<ul style="list-style-type: none"> ◆減少が鈍化する令和2年から令和4年の変化率に基づき推計 ◆国土利用計画(全国計画)の農用地面積の変化率を計上：趨勢数値に対し1.06を計上 	2,102ha

(2) 住宅地に関する考え方

平成30年から令和4年の面積推移に基づくトレンド推計によると、令和17年の住宅地面積は1,245haとなるが、近年の住宅地の整備状況や既存ストックを活用する観点、さらには将来的な人口動向を鑑み、以下のとおり目標値を設定する。

基準年 令和4年度 (2022年度)	目標年(趨勢) 令和17年度 (2035年度)	補正等の考え方	目標年 令和17年度 (2035年度)
1,204ha	1,245ha	<ul style="list-style-type: none"> ◆趨勢の推計ではなく、今後の人口動向を考慮し算出 ⇒平成30年から令和4年の住民基本台帳による人口に基づき、千人当たりの住宅地面積を算出 ◆目標人口97,000人に上記数値の変化率を計上 	1,233ha

2-3 土地利用転換表

単位：ha

転換源 \ 転換先		農用地	森林	水面・河川・水路	道路	宅地	その他
令和4年	農用地	2,134	2,102		5	27	
	森林	5,121		5,098		23.0	
	水面・河川・水路	375		375			
	道路	907			907		
	宅地	1,761				1,761	
	その他	1,696			5.5	27.0	1,663.5
令和17年 目標値		2,102	5,098	375	917.5	1,838	1,663.5